

浄土平・鎌沼・東吾妻山山行報告

【山城・ルート】 吾妻連峰・浄土平―鎌沼―東吾妻山

【日時】 平成 28 年 1 0 月 1 日（土）

【天候】 曇り時々晴れ

【参加者】 C L 菊池 典雄・S L 八角・洋・寺崎 眞理・大木裕見子（記録）

【山行タイム】 千葉夜中の 3:15 発→東関道佐倉 I C→圏央道→常磐道→磐越道→磐梯熱海 I C→磐梯吾妻スカイライン→浄土平ビジターセンター着 8:23 分着。支度準備 OK 浄土平 8:50 出発→姥ヶ原→鎌沼→酸ヶ平避難小屋→姥ヶ原→東吾妻山頂 12:10 着→景場平→吾妻小舎→桶沼→浄土平到着 16:00→高湯温泉共同浴場あったか湯→帰葉。



【報告】

夜中の出発に強いリーダー宅に集合し 3 時 15 分出発。極霧雨ありで不安。磐梯熱海 I C を 7 時 26 分に着く。行動食チョイ足しにコンビニ探すが行けども、なかった。目的地の浄土平まで磐梯吾妻スカイラインは無料。26 キロのコースは「日本の道 100 選」にも選ばれているようで紅葉最前線前でも十分堪能できた。途中オコジョ？テン？も横切る。近づくにつれたおやかな山容が次第に近

づき白い霧が天気も回復、ばんざーい。8時23分浄土平ビジターセンターの到着。支度を整え8時50分姥ヶ原を目指す。横目に煙が出る一切経は「噴火レベル2」で近づけない。姥ヶ原までは岩ごろごろな登山道で一般観光客はいない。今季初めて出会う赤・黄の紅葉に皆テンション高い。



思考と嬉し楽しいが脳の中で真っ赤に点滅しているかも??足元にはふっくら白く可愛い白玉の木が優しい。



姥ヶ原で右に進み鎌沼で休憩。「カモに餌を与えないで下さい」とあるがカモは見当たらない。鎌沼をぐるっと周り酸ヶ平避難小屋を目指す。縁が白く薄いグ

リーンの笹藪もふかふか絨毯のようで赤・黄・緑の紅葉の樹木をひときわ浮き上がらせてくれる。藪もなかなかじゃん！！立派な避難小屋はこれまたりっぱなトイレが独立。小屋の中で少しまったりして鎌沼まで戻る。途中、二人連れの地元福島ガールにシャッターを頼まれるリーダー。千葉から来たと言うと「あら～都会からようこそいらっしやいました、ありがとうございます」なんて東京人？になったよう。ちばやま宣伝部長？のリーダー、しっかり「ちばやま」をアピールしおまけに山スキーもアピールしお別れ。HP 見てくれるかしらん。



11時23分姥ヶ原の分岐点に着き本日の最高峰東吾妻山を目指す。結構本格的な登山道でぬかるんだり滑ったりと疲れる。12時10分東吾妻山到着。山頂は広く20人ほどの山ガール山ボーイの先輩方がたくさん、美味しくお弁当を仲良く

いただいております。我々は行動食。遠くに飯豊山、誰かが「イイで〜」とお馴染みのお言葉です。さえぎる雲もなく晴天！気持ち良いです。次は景場平まで下ります。



乾いていて滑らないなーと安心して下っていたら、グチャグチャぬるぬるごろごろの連続緊張感の下山。涼しいなーとホットしたら木道が現れ景場平の神秘的な湿原草紅葉してました。14時着。こんなところでテント泊してみたいです。



この後も気の抜けない下山が暫く続き車道に14時42分到着。車道と平行した登山道を選び鳥子平を目指す。お気楽ハイキングコースと思いきやまたもやヌルグチャ、とうとう登山靴が泥にはまりました。途中「新・奥の細道」なんて名前だけのご立派な道標を通り吾妻小舎から火口湖の桶沼を寄り道し





ながら浄土平に 16 時過ぎに到着。スカイラインのゲートが 17 時に閉まってしまうとのことで美味しいソフトクリームを横目に急いで車に乗り込みました。途中の高湯温泉共同浴場「あったか湯」で入浴。入浴料 250 円に感激。ただし石鹸シャンプー、ドライヤー有りません。露天風呂のみ。白い源泉かけ流し。帰りは福島西 IC から入り常

磐道の阿武隈高原 SA でリーダーお勧めのビーフカレー（女子二人は生姜焼きデス。）を頂き渋滞無く帰葉。早起きは三文の得！充実した山行でした。



